

(様式1)

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人の理念:「平和、親和、調和の三つの和をもって地域の輪となる」。GHの理念:「自分らしく、居心地のいい、安心できるグループホーム」、「ゆっくり、いっしょに、楽しみながら」。法人の理念を前提とし、地域との関係、入居者の尊厳を保つ理念を作り上げ、実現出来るように取り組んでおります。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念をユニット内に掲示しております。 毎日の申し送りや月1回の職員会議を通じ、職員に理念の浸透を図り、日常生活援助の中で意識しながら介護に携わっております。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>理念をユニット内に掲示しております。 運営推進会議、町内会の会合や回覧板、小・中学校関係者と交流する機会を積極的に設け、取り組んでおります。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>小学校の慰問、運動会、発表会、中学生や小学生の福祉体験学習やボランティアなどの受け入れ、町内会の集会の出席、廃品回収や町内清掃活動、敬老会の案内、園児、小学生児童、町会の方に夏祭りの案内を送ったりしております。買い物も近所のお店を利用し、散歩時に近隣住民から声を掛けられることも多くなっております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員で対応することが大切だと考え、できる限り馴染みの職員で対応できるように配慮しております。異動、離職する際は、業務の引き継ぎ書を作成し、引き継ぎの徹底を図っております。</p>		
<p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員の研修、段階に応じた職員の研修、事業所内の研修、年1回法人全体の研修、月1回のグループホーム研修、法人業務別研修会を実施しております。参加出来なかった職員には報告し周知に努めております。</p>		
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>総会や研修を通じて同業者との交流を図り、情報交換を行っております。 昨年、他のグループホームと利用者間の交流会を実施しており、今年も計画を立てております。今回は、利用者や職員の交流を主旨としております。</p>		
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年に3回開催される法人親睦会、定期的に行われる事業所での親睦会で意見交換出来る場を設けております。休憩時間も確実に取れるように配慮しております。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人では、資格取得の為に支援を行っております。定期的な実績、改善点の報告を行っており、改善に努めて下されます。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談や入居の手続きをした際に、ゆっくり話を聴き、心配事、要望、生活歴等を伺い、ニーズを明確にし、職員も含めて検討対応しております。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況や希望を伺い、その方にふさわしいサービスを検討、提案しております。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前のホーム見学をお願いしております。入居前に自宅に訪問することもございます。言葉掛けの工夫、その人にあった役割がスムーズにできる環境作り、他利用者との関係作りに配慮しております。ご家族、担当介護支援専門員、かかりつけ医とも協力し情報を提供して頂いております。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「介護してあげる」のではなく、「自分らしく生活できるようにお手伝いさせていただく」、「一緒に生活していません」という姿勢で尊厳をもって接しております。日常生活の中で個々にあった役割ができ、野菜作り、裁縫、家事仕事など利用者の意見を尊重した支援を行っております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日頃からご家族と接する機会を設け、ご家族、職員と共に考え協力し合いながら行っております。		
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各家庭の家族関係の情報を伺い、両者にも負担が掛かりすぎないように考慮しながら行っております。行事にも、ご家族の参加ができるようにお声をかけております。		
27 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人の希望や生活歴を考慮し、ドライブの場所に取り入れたり、ご家族の協力も得ながら、少しでも活かせるように努力しております。		
28 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生活歴、性格を考慮し、入居者同士が支え合う関係作りが自然に出来るように職員が気配りをして取り組んでおります		
29 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的に電話で連絡を取り合っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴、アセスメント、ご本人・ご家族から希望を伺う、日々の生活の中での行動、言動などを観察し、意向を確認して支援を行っております。</p> <p>意向の把握が困難な時には、職員、ご家族、担当介護支援専門員を交え、話し合いの場を設けております。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族、担当医、担当介護支援専門員から情報を収集して把握に努めております。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>各利用者ごとに、その日の出来事、健康状態をケース記録に記入しております。1ヶ月毎にサービス計画書に沿ってサービスが行われ、利用者の方の状況はどうか等の評価を行っております。毎月GH会議で入居者状況を話し合っております。</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員で利用者の方の状況や気付いた事をシートに記入し、ミーティングやカンファレンスに反映させています。ご本人、ご家族、担当医、担当介護専門員、職員から意向や意見を伺い、毎月担当者会議を開催し取り組んでおります。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月評価を行い、変化がみられた際は都度作成し、変化がみられない際は、3ヶ月に1度作成しご家族の同意を得ております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>35</p> <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人のケース記録用紙、担当者会議の要点用紙、毎月の入居者状況用紙を活用し情報を記録しております。月毎の評価を行っております。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>			
<p>36</p> <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制を整え、健康面の充実と受診の付き添いや馴染みの場所へ行けるなどの支援、家族が宿泊できる体制作りを行っております。</p> <p>自宅に戻られた時や在宅の生活が困難になった時の住み替えによるダメージの軽減を図るため、併設のデイサービスや居宅介護支援事業所、ヘルパー事業所の情報も提供しております。</p>		
<p><b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b></p>			
<p>37</p> <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>学校行事の参加、避難訓練、敬老会の招待、ボランティア等必要な時は協力を得られております。</p>		
<p>38</p> <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>日頃からネットワーク作りを行い、希望があった際には、本人の意向や必要性に応じて、他の事業者等と連絡調整を図り、選択できる機会を提供しております。</p>		
<p>39</p> <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議には参加して頂いており、意見交換等を行っております。</p> <p>必要性があればご協力を得られる関係作りにはなっております。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に今までの医療状況について把握し、希望に添った医療が受けられるように支援しております。夜間や休日に対応できない病院もあるため、事前に話し合いしております。ご家族で対応できない時は、職員が受診介助を行い、受診後の報告をご家族に行っております。		
41 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居者によって、認知症専門医をかかりつけ医としている方もいらっしゃいます。ホーム協力病院にも専門外来があるため随時対応できる体制になっております。ご本人やご家族に説明を行っております。		
42 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	内科や外科、認知症等にも詳しい担当看護師が配属しており、個人ケースに状況を記入したり、職員や利用者、アドバイスを行っております。		
43 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関、ご本人、ご家族、担当介護支援専門員、看護師を含む職員と随時情報交換や相談は行っております。		
44 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にご家族とご本人と話し合いを持ち、意向を確認しております。重度化した場合、関係者と話し合いその方にあつた施設の紹介を行っております。終末期の場合は、ご家族の協力が得られればホームで対応できる体制にはなっており、状況に応じた施設などの紹介も行っております。		
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りの指針についてマニュアルは整備しております。担当医、ご家族、ご本人、職員間の「できること・できないこと」を具体的に再検討する必要があると考えております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>46</p> <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境の変化で起こりえるダメージを予測し、未然に防げるように話し合いの場を設けております。</p>		
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>47</p> <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>不快をまねく言葉掛けや対応はしないこと、記録物の保管場所に施錠すること、広報の作成は同意を得ること、面会簿は個別にするなど個人情報の扱いには十分注意を払っております。</p>		
<p>48</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個人の能力に合わせた手法で対応しております。</p>		
<p>49</p> <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度の1日の生活リズムは決まっておりますが、意向を確認しながら、散歩、買い物、野菜作り、漬け物作り等出来るだけ本人に合わせた行動が出来るように支援しております。 外食や行事等も意向を取り入れております。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>50</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人の意向を伺い、ご家族と協力しながら支援しております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付け等、「できること」「できないこと」「きっかけをつくりできること」等を把握し、能力に応じて利用者が出番や役割が出来るように支援しており、職員も同席し同じ献立を食しております。嗜好品の希望を伺い対応しております。		
52 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者には、喫煙場所を設けております。生活歴、習慣、健康面に配慮し、できる限り本人の希望にそって対応しております。		
53 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を使用し、排泄パターンを把握し、個人に応じた排泄介助を行い、トイレで排泄する事を目標にしてケアを提供しております。		
54 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温泉。 建物の構造上、入浴時間は午前中と制限はありますが、シャワー浴はいつでも使用できます。毎日入浴されている方もおります。		
55 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動の工夫、適度な運動を取り入れております。就寝時はパジャマの着替えを支援し、安眠につなげております。個人に応じてお昼寝をする時間を設けております。独りで居室で過ごす時間も大切に、見守りを行っております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や現在の能力を考慮し、カラオケ、野菜作り、散歩、買い物、おしゃれ、華道、茶道、家事仕事などを職員と行い、役割や出番、生活意欲を引き出せるように支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人やご家族と相談し、自己管理出来る方、所持していないと不安になる方を検討し対応しております。上記の場合には、おこづかい帳を準備し、記帳とレシート添付をし管理しております。		
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、野菜畑、理容院や美容院、ドライブや外食などの外出行事も取り入れております。場面によってはご家族の協力を得ながら行っております。		
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事の中でドライブとして取り入れたり、個別に対応し支援しております。場面によっては御家族のご協力も得られております。		
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由にやりとりができるように支援しております。		
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者と一緒にお出迎えしたり、見送りをしております。面会場所も自室、ホール、和室を自由に使用していただいております。		
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを準備しております。勉強会も行っております。申し送りや会議の場、日常のケアの中で行われていないか振り返りも行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	普段は施錠しておりません。 鍵を掛けないケアを実践するためのセンサーを設置しております。 外へ出られる方へも、さりげなく見守りしながら危険のないように支援しております。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	尊厳やプライバシーに配慮しながらも、リスクを把握し、常時見守りを行い安全に努めております。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	安易にすべて取り除くのではなく、一人ひとりの状況や希望に応じて対応しております。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアル、防災マニュアルを準備しており、それに沿って対応しております。 日頃から状態や行動を観察し把握することも行っております。		
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会や会議の場で知識習得の機会を設けております。		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルは準備しております。 年2回、日中・夜間を想定した消防訓練を行っております。町会長、民生委員、協力委員の協力も得られております。常備水を準備しております。 洪水ハザードマップを準備しております。水害、地震災害の避難訓練は実施していません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	日頃から職員と話し合い、ご家族には、面会時等に生活状況の報告と起こりえるリスクについて話し合いを設けております。 抑圧感がなく、安全に自立できる暮らしを支援しております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定、食欲、睡眠、排泄、生活態度、表情、活気等にも日頃から観察を行い、特変時の観察の徹底、看護師やご家族と連絡をとり、早目の受診等へ繋げております。 上記の一連の流れはケース記録や業務日誌に記録しております。		
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や薬剤師、ホーム看護師から指導を受け、職員が周知しております。 手渡しする、薬の封を切り渡す、飲み込むまで確認を行う等とその方に合わせて支援しております。		
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便の観察を行っております。 便秘症の利用者には、ご家族、ホーム担当看護師、担当医と相談し状態に合わせて下剤の調整を行っております。 日頃の生活にも注意を払い、食事量、献立の工夫、水分摂取量などの観察と散歩やラジオ体操も取り入れています。		
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行い、就寝前には義歯洗浄剤を使用しております。 御本人の能力に応じて、声掛けや見守りを行っております。住診に来て下さる歯科医とも相談できる体制になっております。		
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の通所介護施設の栄養士が1日1400～1600カロリーを目安に季節や行事に合わせて献立を作成しております。 嗜好や摂取状況に応じて代替えで提供しております。食事摂取量や水分摂取量も記録しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防・対処方法に関するマニュアルを準備しております。申し送りや会議を通じて実行するように徹底しております。日頃から、手洗いやうがいの励行、手すりやおしぼりなどの消毒を行っております。		
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	栄養士の指導を受け、毎日、調理道具、台所用品、布巾の消毒と乾燥の徹底、定期的な冷蔵庫の掃除、賞味期限の確認、調理法にも注意を払っております。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るく、清潔感があり、家庭的な雰囲気を中心掛けて、植物や置物等にも気配りしております。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには、食堂席の他に、掘り炬燵風のテーブルをセットした和室、椅子とテーブル、水槽や植物をおいております。窓から見える岩木山や風景で季節を感じることができ、西日がさす時間帯はカーテンで調節しております。温度計、湿度計、加湿器もあり、快適な生活ができるよう支援しております。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには、食堂席以外に談話コーナーをセット、廊下には椅子や植物を置き、2階バルコニーには、テーブルをセットし自由に過ごせる場所を提供しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
81	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
83	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
84	<p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に 印をつけてください)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・「尊厳を守る」、「自立支援」、「生活リハビリ」、「家庭的な雰囲気」を合言葉に、その方に合った生活が送れるように、全職員が日々取り組んでおります。季節を感じられる食事や行事も取り入れております。